

職工側ハ要求總額六百三十九圓中五百五十二圓マテハ讓歩ス
 ヘキモ其レ以上ハ到底讓歩スルトヲ得スト主張シ居ルシノ
 妥協点ヲ見ルニ至ラズ工場主ハ二十日兼書ヲ以テ返答セ
 レ以外ノ要求ニハ應ジ難キ旨回答セルヲ以テ同夜遠藤宗治外
 三名ノ解雇職工ハ直接工場主ヲ訪問シテ交渉セル中意見齟
 ヲ激論ノ結果散會マルヲ工場主ハ労働者側ニ於テ暴行ノ上事
 務所ノ硝子戸ヲ破壊シタル旨前日警察署ヘ虚偽ノ訴ヲナレタ
 ルヲ以テ取調ヘノ上地主ヲ警察氷處罰令ニヨリ科料貳圓ニ處
 セリ

右及申(通)報候也

| |
|------|
| 578 |
| 1372 |

勞務第二一三三號

昭和五年七月四日

警視總監 丸山 鶴吉

内務大臣 安達謙藏 殿
 社 會 局 長 官 殿

蒲田印刷所労働争議ニ関スル件 (第二報)

其後スシテ停頓状態ニテリタルカ六月三十日勞資會見スル事ニ至リタルニ交
 渉決裂セリ

標記争議ハ其後スシテ停頓ノ状態ニアリシカ六月二十七日労働
 者側ヨリ代表トシテ宮川惣吉ハ工場主地或久宣ヲ訪問シ

ハ工場主ニ於テ至急解決ヲ計ルコト

又相澤令宜ハ工場主ヨリ依頼アレバ両工場の主ニ代リテ調停